

府省名	国土交通省	部署名	九州地方整備局長崎河川国道事務所
-----	-------	-----	------------------

取組のポイント

平成31年の超過勤務上限規制導入を好機ととらえ、超過勤務縮減とワークライフバランス向上のための取組を強化。業務マネジメントに関する方針等を定期的に「所長メモ」として配布し組織の方向性が見える化、「決裁タイム」の設定等による業務効率化、現場見学会等への部署横断的な参加による職場内コミュニケーション活性化など幅広い取組を実施。H28～30年度は30人以上いた年間360時間以上の超過勤務実施者数をゼロとすることに成功(R1年度)。

取組概要

【取組の背景】

平成31年に超過勤務の上限時間が定められたことを好機ととらえ、月45時間以内、年360時間以内、サービス残業ゼロのもと、事務所3本柱(限られた時間で一人一人のやりがいと気付きを活かして組織としてのパフォーマンスを向上させつつ、地域に信頼され、地域を一層盛り上げる)を実現し、一人一人の公私を充実させ人生を楽しむことを共通目標として取組を推進。

【取組の内容】

○タテヨコのコミュニケーション

- ・各業務の「年間目標」や、業務マネジメントに関する方針・気付き等を毎週「所長メモ」として配布するなど組織の方向性が見える化。
- ・ほう・れん・そうの徹底により、失敗すなりカバリーで信頼強化に繋げる、作業初期段階で最終判断者と方向性を確認するなど、縦の風通しを強化。
- ・年1回の全体レクリエーションや毎週の部活動等時間外活動を奨励、事務所掲示板の活用、コメント付き自己紹介など、一体感を醸成し横の風通しを強化。

○一人一人の意識向上(メリハリ・気付き等)

- ・長崎会議五原則、毎日の始業後1時間の決裁タイム、幹部スケジュールの見える化など、「時間」「効率」を意識した業務運営を実施。
- ・現場体験・討議等の場に組織横断的に職員が参加し、気付きと一体感を醸成。積極的に地域活動に参加し、アンテナ機能、パフォーマンス、プレゼンスを強化。

○超勤・業務マネジメント

- ・毎週、各所属長は先週までの職員の超勤状況を踏まえ、仕事のやり方を見直し。幹部職員は進捗確認・課題への対応を実施。

【取組の成果】

令和元年度は、全職員超勤年間360時間以内での業務執行を達成。令和2年度も、リモート機器も活用しつつ、年間360時間以内達成に向け一丸となり取り組んでいる。(年間360時間超過人数 平成28～30年度30人以上→令和元年度0人)

事務所のめざす方向(3本柱)
○地域から信頼される組織 (情報に対応した事業の提供・管理、真摯な対応、組織一体のカバリー)
○地域を一層盛り上げる組織 (地域へのアンテナを高く、柔軟に対応、インフラ・事業等の有効活用)
○一人一人がやりがいをもって存分に能力を発揮し、総力の結集としてより高いパフォーマンスを発揮する組織 ⇒事務所3本柱を職員一人一人が認識し、公私ともに自らの立ち位置を自覚して、一人一人の公私を充実
月45時間以内、年360時間以内、サービス残業ゼロ



【事務所3本柱】

【クラブ活動】

講評

休み方改革や人生充実を打ち出し幅広く取り組んでおり評価できる。事務所で年間目標を設定し、その実現に向けトップが方針と気づきを定期的に情報発信・公表するなど組織の方向性を明示している点、失敗時も共有し、連携性・公正性を組織文化として定着させようと取り組んでいる姿勢は大いに評価できる。